

新型コロナ

共産党・志位委員長が政府に緊急申し入れ

感染震源地の徹底検査を

エピセンター



西村経済再生担当相(右)に申し入れる志位和夫委員長(中央)と田村智子政策委員長=7月28日、内閣府(「写真「しんぶん赤旗」」)

志位氏は、感染が持続的に集積する「感染震源地」(エピセンター)を明確にし、その地域の住民、事業所に勤めている人の全体を対象に、網羅的な検査を実施し、「感染力」のある人を見つけだして隔離・保護する取り組みをおこなうことを提案しています。

申し入れ後の記者会見で志位氏は、「再度の緊急事態宣言は回避しなければならないし、そのためには検査の抜本的拡充しかない」と強調。臨時国会を直ちに開き、今の感染拡大をどうやって抑止して、安全・安心な社会をつくっていくのか、徹底的かつ建設的な議論が必要であると語りました。

日本共産党の志位和夫委員長は7月28日、安倍晋三首相に対し、新型コロナウイルス感染症の急拡大を抑止するためにPCR等検査を大規模に拡充することなどを求める緊急の申し入れを行いました。志位氏が西村康稔経済再生担当相と会談し、首相への申し入れの内容を伝えました。

申し入れの骨子

- ①感染震源地を明確にし、その地域の住民、事業所の在勤者の全体に対してPCR等検査を実施すること
- ②地域ごとの感染状況の情報を住民に開示すること
- ③医療機関、介護施設、福祉施設、保育園・幼稚園、学校など、集団感染によるリスクが高い施設に勤務する職員等への定期的なPCR等検査を行うこと
- ④検査によって明らかになった陽性者を隔離・保護・治療する体制を、緊急につくりあげること

記者会見の動画

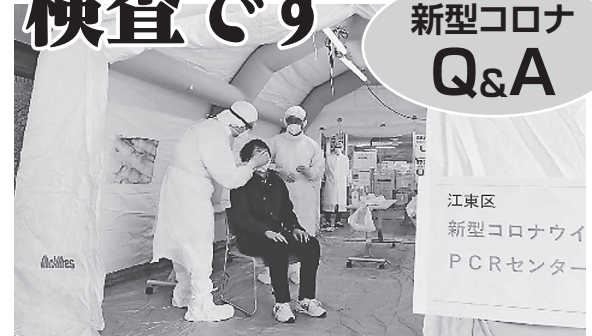


全文・資料



PCRは確立された検査です

新型コロナ Q&A



東京都江東区が同区医師会と連携して設置したPCRセンター(同区提供)

感染拡大を抑止できるかどうかのカギは、「感染力のある無症状者」をどうやって見つけ出し、保護・隔離するかです。無症状の人は咳(せき)や痰(たん)も出ませんが、唾液にウイルスがいれば会話などのしぶきで感染させる可能性があります。唾液や鼻の奥の粘液にウイルスがどうかを調べるのが大事ですが、PCR検査はウイルスが「いる」、「いない」を100%に近い確実さで判定できます。

PCR検査が感染対策の中心に位置づけられるのは、それがウイルス発見の最も確立された検査法だからです。PCR抑制論は日本独特の議論です。

抑え込みに成功したニューヨークでも

米国ニューヨーク市では1日6万件以上のPCR検査をやって感染者を見つけ出し抑え込みに成功し、経済活動との両立をはかっています。

日本共産党